



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース62号

平成30年度 催し物

毎月、さまざまな催し物を予定しています。夏休みは
子供向けの体験学習が充実しています。

海苔に関するものや親子で楽しめる催し物などご
用意して、皆様のご参加をお待ちしております。



開催日		催し物	対象	受付開始日
月	日・曜			
4	1日(日)	海苔つけ体験	だれでも	満員御礼
	22日(日)	緑のカーテンを編もう	小5以上	3月21日(水)
5	6日(日)	開館10周年記念講演 講師：菊地則雄先生 「アサクサノリという生きもの」	だれでも	4月11日(水)
	19日(土)	海藻おしばづくり	だれでも	4月21日(土)
6	10日(日)	あみあみペットボトルホルダーづくり	小5以上	5月11日(金)
7	23日(月)	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	小3以上	7月11日(水)
	25日(水)	タペストリーをつくろう	小3以上	
	29日(日)	浜辺の生き物探検隊	小3以上	
8	4日(土)	自由研究で海苔を調べよう	小3以上	
	5日(日)	フジツボを観察しよう	小3以上	
	7日(火)	ミニ海苔簀をつくろう	小3以上	
	22日(水)	貝がら工作	小学生以下	
9	26日(日)	浜辺の生き物探検隊	小3以上	
	9日(日)	海苔簀づくり	小3以上	8月21日(火)
10	21日(日)	海苔簀づくり	小3以上	9月21日(金)
	27日(土)	浅草海苔のふるさと大森を歩く ～海苔の史跡めぐり～	小5以上	
11	18日(日)	映像上映「中ベカを復元する」	だれでも	当日先着
	24日(土)	海苔つけ体験	だれでも	10月11日(木)
12	2日(日)	海苔つけ体験	だれでも	
	22日(土)	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	小3以上	11月21日(水)
1	19日(土)	海苔つけ体験	だれでも	12月21日(金)
	27日(日)	海苔つけ体験	だれでも	
2	9日(土)	海苔つけ体験	だれでも	1月11日(金)
	17日(日)	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	小3以上	
3	16日(土)	海苔つけ体験	だれでも	2月11日(月祝)
	24日(日)	海苔つけ体験	だれでも	

催し物の詳細は、区報およびホームページでお知らせしています。

申込み：区報掲載日の午前9時より電話にて申込受付。土日祝日も受付けています。

申込・問合せ先：大森海苔のふるさと館 電話：03-5471-0333





年間の催し物

年間の催し物の中から、主な催し物をご紹介します。

■海藻おしばづくり (10:00～、14:00～)

ノリや近くの浜辺の海藻で、海藻おしばを作ります。

■あみあみペットボトルホルダーづくり (13:00～16:00)

海苔網の編み方を応用して、ペットボトルを入れるネット状のホルダーをつくりま



■海苔簀(のりす)づくり (13:30～16:00)

ヨシを使って海苔つけに使う海苔簀を作ります。手作り海苔簀で、昔と同じ海苔つけ体験ができます。

■浅草海苔のふるさと大森を歩く (13:00～)

浅草海苔の一大生産地だった大森の海岸エリアを巡り、海苔の史跡などを見学します。

■海苔つけ体験 (10:00～12:00)

生海苔から乾海苔を作る体験です。

■(新)大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験 (10:00～)

かつての大森伝統の海苔づくりの歴史や方法について解説を聞き、元生産者の手わざを体験します。「海苔つけ体験」よりも中身が充実。海苔を学びたい方や好奇心旺盛な大人向きです。

<夏休み子供向け体験学習会>

■タペストリーをつくろう (13:30～15:30)

海の紐の結び方を使ってタペストリーを編みます。

■ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう

(13:00～16:00)

ベカブネのペーパークラフトを作ります。

■浜辺の生き物探検隊

(9:30～12:30)

浜辺の生き物の観察をして身近な海の環境を学びます。



■(新)ミニ海苔簀をつくろう (13:30～)

ミニサイズの海苔簀を作る工作です。

■自由研究で海苔を調べよう (13:00～16:00)

海苔作りの歴史のお話や道具体験、展示見学、質問タイムなど、海苔について学びます。

■フジツボを観察しよう

(13:00～15:30)

海に沈めた板に着いたフジツボを観察します。スケッチしたり、違いを調べたり、実験や観察をします。



■貝がら工作 (9:30～、13:30～)

自然の貝がらを使って工作をします。



ミニ・イベント

家族連れやお友だち同士でお気軽にご参加いただけます。

主催:NPO法人 海苔のふるさと会

■絵本の読み聞かせ&公園散歩

季節の絵本の読み聞かせの後、公園でお花や生き物を探します。
日にち: 毎月第四火曜日(12月は第三火曜日)

時間: 11:00～11:30

■ひまわり・プロジェクト

耕しの巻: 4月21日(土)

種まきの巻: 5月3日(木祝)、4日(金祝)

時間: 13:30～14:30(当日先着)

水やりの巻: 5～7月までの毎日

種とりの巻: 9月8日～17日

時間: 9:00～17:00

■季節飾りと工作遊び

カブトづくり: 4月30日(月祝)、5月5日(土祝)

(新)ハーブのてるてる坊主づくり: 6月3日(日)

七夕飾りづくり: 7月1日(日)

ハーブのサシェづくり: 9月17日(月祝)

貝のおひなさまづくり: 2月24日(日)

時間: 13:30～15:30

■観察会「浜辺の小さな生き物たち」

6月16日(土)、10月8日(月祝)

時間: 13:30～15:30

■お月見コンサート

日にち: 9月24日(月祝)

時間: 17:30～19:00

※小学生以上、要事前申



し込み(9月より募集予定)

■天空ガーデンの手入れ

日にち: 毎月第二火曜日

5、11月: 植え替え

■(新)大人の紙芝居

日にち: 偶数月第二木曜日

時間: 13:30～14:30

■ほかにも!

GW: のりのり☆クイズ

夏休み: のり検定(海苔のワークシート)

毎月: 親子で昔遊び

海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」62号

平成30年4月1日発行

編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース63号

ありがとう! 大森 海苔のふるさと館 開館10周年記念式典

「大森 海苔のふるさと館」は、平成20年4月6日に開館し、今年で10周年を迎えました。

当館はこれまで元海苔生産者をはじめ、地域の方々、海苔のふるさと会会員、はまどの会、来館者の方々など、多くの方々に支えられて活動してきました。これまでのご支援に厚く御礼申し上げます。

皆さまへの感謝の気持ちを込めて、4月15日(日)



に開館10周年記念式典を開催しました。あいにくの春の嵐でしたが、大勢の関係者や地域の方々にご列席いただきました。松原大田区長、海苔のふるさと会の中村理事長、大田区

議会の大森議長にご挨拶をいただきました。その後、大元組による和太鼓のお祝いの演奏で大いに盛り上がりしました。

式典後は、当館の小山事務



局長のフロアトーク、職員の三好による企画展のギャラリーガイドを行いました。企画展は、開館以降に寄贈された初公開写真の展示で、うなずきながらかつての大森



の風景の解説を聞く姿が見られました。

大田区の公式PRキャラクターはねびょんもお祝いに駆けつけ、式典の前後に来館者と記念撮影をしました。

10時からは、大森本場乾海苔問屋協同組合によるのり祭りもお祝いを盛り上げてくれました。地元問屋の海苔の即売や、生産者が食べていた海苔巻きを模した大森巻きを作る体験、海苔の模擬店など、家族で海苔を満喫していたようです。(五十嵐)



新発売

開館10周年記念 オリジナルグッズ & 聞き書き集

開館10周年を記念し、海苔のふるさと館オリジナルグッズと新刊本の販売を開始しました。

大森 海苔のふるさと館 オリジナルグッズ ミニタオル

大森 海苔のふるさと館のキャラクター『のりのりファミリー』と大田区公式PRキャラクター『はねびょん』が初コラボレーション! 持つだけで元気がでるようなポップでかわいい色合いです。



250円

クリアファイル

浅草海苔の製造風景の浮世絵クリアファイル。絵は歌川広重(三代)の大日本物産図会。海苔職人のいきいきとした姿、海苔切りや海苔干し、海にはヒビが整然と建て並ぶ様子も精巧に描かれています。



100円

海苔のふるさと会 販売物

『聞き書き 最後の海苔漁師たち -海苔のふるさと東京大森-』

「聞き書き・大田区民の会」と海苔のふるさと会の協働により、大森の元海苔漁師の語りが本になりました。東京の海で仕事をしていた海苔漁師の経験談を後世に残すべく、語り手一人一人の体験や想い、口調を活かして記録して

います。江戸前の海

うら

苔養殖を後世に語り継ぐ、貴重な一冊です。

(舟越)



1500円(会員割引あり)

海苔のふるさと館 10年のあゆみ



平成20年度

4月6日 海苔のふるさと館オープン。
ニュース発行。
公式WEBサイト開設。



平成21年度

はまどの会の活動開始。
来館者10万人。
ミニイベント開始。
東京海洋大学との協働イベントを多数開催。
焼き海苔の販売開始。
元海苔生産者の名板が寄贈された。
東日本大震災が発生。



平成26年度

NHKEテレ「すすめ! キッチン戦隊クックルン」の取材。海苔つけ体験が大人気に。
東京湾大感謝祭や野鳥公園イベントの参加開始。
職員が7名に増員。
来館者50万人。



平成27年度

前掛けの販売開始。
ダルマ船の模型が寄贈。
浜辺での海苔生育事業で数年ぶりに生海苔収穫。



平成22年度

茨城県自然博物館の特別展に海苔の資料を貸出。



平成23年度

『海苔のこと 大森のこと』販売開始。
外国語パンフレット発行。
水槽にウナギが仲間入り。
荷足船模型が寄贈された。



平成28年度

来館者70万人。
職員が8名に増員。
ポケモンGOで周辺が混雑。
ふるさとの浜辺公園に新施設オープン。



平成29年度

天空ガーデンで収穫したハーブのイベント開始。
10周年記念企画展開始。



平成24年度

名板作製実行委員会より魚の水槽が寄贈された。
子供用リーフレット発行。
資料寄贈が増えた。



平成25年度

浜辺の海苔生育事業開始。
大田区エコフェスタへの参加開始。



平成30年度

4月15日 開館10周年記念式典
『聞き書き 最後の海苔漁師たち』発行

これからも、
より多くの方々に愛され、
楽しんでいただける施設を目指してまいります。
応援よろしくお願いします!!



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」63号

平成30年6月1日発行
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

**海苔のふるさと会
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース64号

大森ふるさとの浜辺公園で生き物を見つけよう！

大森 海苔のふるさと館が隣接する「大森ふるさとの浜辺公園(以下、ふる浜)」には人工の砂浜があります。私たちが住んでいる身近な海がどれほど豊かなのかをご紹介します。

【ふる浜ってどんなところ？】

2007年に完成した、人工の砂浜です。周囲は埋立地や運河、高速道路や工場など多くの人工物に囲まれています。また、近くには森ヶ崎水生センターがあります。

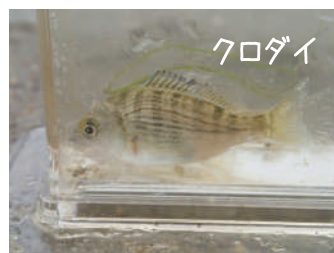


【ふる浜にはどんな生き物がいるの？】

ふる浜にはたくさんの生き物が生息しています。みなさんの目に付くところでは、よく水面を飛び跳ねているボラや、波打ち際で見かけるマハゼやビリンゴ、さらにはクロダイやスズキ、フグ、ヨウジウオ、サッパ、カタクチイワシ、コショウダイ、カレイなど魚類だけでもこれ



ボラ



クロダイ

ほどの種類がいます。他には、タカノケフサイソガニ、コメツキガニ、ヤドカリ、イソスジエビ、ヨコエビの仲間などの甲殻類や、ミズヒキゴカイ、ヤマトカワゴカイなどゴカイの仲間、アサリやシジミ、ホンビノスガイなどの二枚貝やアラムシロガイ、ホソウミニナなどの巻貝、スジアオノリ、ヒラアオノリなどの海藻類と、さまざまな生き物たちがいるのです！生き物の名前を並べただけでも、とてもたくさんの生き物がいる海で



ホンビノスガイ



マハゼ

あることがわかります。

ふる浜は、小さい魚がたくさんいることが特長です。コトヒキやクロダイ、ボラの幼魚がよく見られます。このような魚は大きい魚

に食べられる危険がありますが、ふる浜のような浅い海に大きい魚は入れません。なので、子どもの魚は安心して過ごし、大きく成長できるのです。



【どうやって生き物を探すの？】

浜辺の生き物を捕まえるには、玉網ですくったり、砂の中を掘ったりします。夏のイベント「浜辺の生き物探検隊」では、魚を捕まえるために「投網」を使用します。網を投げて、



投網

魚を捕獲する方法で、漁にも使われます。ふるさと館では特別な許可を取って投網をしています。コツが必要で、イベントで上手に投げられるように練習します。ふる浜で事前練習をしているスタッフを見かけたら、ぜひお声かけください！

【生き物を調べるには？】

捕まえた生き物を調べたいときは、ぜひ、ふるさと館へお越しください。図鑑で調べたり、お魚に詳しいスタッフに聞いたりすることができます。実際に海に行けなくても、ふるさと館にある水槽や海に関するイベントに参加することで、生き物に親しむ機会があります。10月8日(月・祝)には“観察会「浜辺の小さな生き物たち」”を開催いたしますので、ぜひご参加ください。(滝本)



水槽で泳ぐボラの幼魚

自由研究に おすすめ!

(のり検定)

のりのりファミリーが海苔に関するクイズを初級編～上級編と難易度別に出題します。さまざまな海苔のクイズに関して、館内の展示を見ながら答えを探していきます。



初級編～上級編までののり検定を解くと、海苔についての基礎がわかります。

自由研究の導入にもぴったりです!

(体験学習室)

のり検定に合わせて、体験学習室を夏休みの学習用へ特別仕様にします!

本来は冬にしかできない体験・冬にしかしない展示を再現します。

海苔は冬にしか採ることができないため海苔つけ体験は冬限定ですが、この夏、水で海苔つけ体験をすることが



ができます。期間中はどなたでも・何度でも体験可能のため、冬の本番のための練習としてもご活用ください。職員から直接教わることもできますよ!

また、水槽には海苔網も展示します。なかなか見ることのできない海での海苔の姿を観察してみたいかがでしょうか。

(さわってみようコーナー)

当館1階のさわってみようコーナーに置いている道具は、海苔づくりが行われていた当時実際に使われていた道具です。今年6月にリニューアルをしました!



道具の名前と使い方が一体となっており、以前よりもわかりやすくなっています。

いよいよ待ちに待った夏休み! 皆さん、自由研究にお悩みではないですか? 当館は、自由研究を中心とした学習におすすめのスポットです!皆さんの学習が進むいくつかのポイントをご紹介します。



重さや手ざわり、質感などを体感でき、動かして使ってみることもできます。

道具のスケッチも手にとってできますよ。

(展示室)

当館1、2階の展示室には、海苔づくりが行われていた当時の道具が展示されています。1階には当時の海苔づくりの海陸の様子再現と1年間の作業を紹介する映像。2階には1年間の作業それぞれで使われていた道具の紹介や、海苔下駄と振り棒の体験コーナーなどがあります。

2階展示室には、展示の詳細がかかれた展示解説ファイルもおいていますので学習の参考にしてください。

(質問・相談)

海苔についての歴史はもちろんのこと、海藻・環境・食品など様々な観点から学習ができます。ぜひこの機会に当館をご活用ください。自由研究など学習で迷ったら、窓口やお電話にてお気軽にご質問・ご相談ください。



(高橋)

海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」64号

平成30年8月1日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース65号

てく海苔と浜辺のまち歩きガイド 所要時間約30分 コース③

館の周辺をお散歩してみませんか。海苔や浜辺の面影が分かる場所を数回に分けて紹介します。

今回は、美原通りの南側のコースを紹介します。老舗のお店や美味しいものにも出会える地元密着の商店街を楽しめます。

⑧番の諏訪神社は、国道から約300メートル西側にあります。余力がある方は、足を伸ばしてみてください。

(五十嵐)



①山崎呉服店

海苔の仕事着のボータや被布袷纏などの仕立てもしていた。しかし、今では仕立てられる職人がわずかになってしまったとのことである。



②餅甚

享保元年(1716)創業。初代は静岡出身で、東海道を行き来する旅人にあべ川餅などの茶屋を開いたのが始まりと伝えられている。まつりや寄り合い、海苔漁場の場割り(漁場の区画割り)

の作業後などには、お神酒と和菓子の慰労が行われ、大福や名物のあべ川餅など多くの注文が入った。

今は、10代目店主がご子息とともにその伝統の味を守っている。

店内には、船の底板で作られたかつての看板が飾られている。



●は店頭販売している海苔問屋。

③するがや通り(旧羽田道)

歌舞伎「浮世塚比翼稲妻」(鶴屋南北作)で有名な旅籠「駿河屋」が内川のたもとにあったことから、「するがや通り」と名づけられた。

元々は羽田道で、羽田の魚介類を江戸に運んだり羽田弁財天や川崎大師参詣の道として利用された。産業道路ができるまでは羽田と大森を結ぶ主要道路だった。



④産業道路

大森警察署から大師橋、川崎へ通ずる道。昭和7年(1932)に大鳥居までの道が完成した。昭和14年(1939)には多摩川を渡る大師橋が完成し、京浜工業地帯と東京を結んだ。

⑤大森警察署と大森区役所跡

昭和6年(1931)、現在の大森警察署の地に大森町役場が建てられ、後に大森区役所として昭和15年(1940)まで使用されていた。戦時中は迷彩色に塗られ、区役所移転後は大森警察署の庁舎として使用された。



現在の大森警察署の入口には、大森の船大工が制作した海苔船の模型「平和丸」が展示されていて、誰でも気軽に訪れて見ることができる。

⑥国道15号線(第一京浜)

東海道拡張工事は9年の歳月をかけて昭和2年(1927)に完成し、京浜国道として整備された。人家が密集する三原通りと、道が曲折する六郷を避けて新国道が建設されたことから、今でもその2ヶ所は旧東海道の道筋が残る。

⑦開桜小学校(元寄木小学校)

明治8年(1875)、寄木小学校として開校した。後に大森第二小学校となり、平成14年に大森第六小学校と統合して、開桜小学校となった。明治時代には学校資金用の海苔漁場を持っていた。元海苔生産者の指導で学校で海苔つけの授業をしていたが、現在はふるさと館で体験している。

⑧諏訪神社

海苔生産者が多い山谷地域の鎮守。海苔生産終了後には、山谷丁場の海苔生産者によって海苔生産終焉を記した石碑「漁業納畢之碑」が建てられた。同様の石碑は貴船神社(大森東)にもある。

新収蔵品展**—海苔の街を伝える道具たち—**

平成30年**10月16日(火)**
～平成31年**1月20日(日)**

今年4月、海苔のふるさと館は開館10周年を迎えました。開館以来、ふるさと館は元海苔生産者の方々をはじめ、多くの地域の人たちに支えられながら活動してきました。それと平行して、ふるさと館には多くの道具が寄贈されました。それらは、かつて大森で海苔養殖が行われていた頃の暮らしぶりを今に伝える、貴重なものばかりです。

今回の企画展では、新しく寄贈されたものの中から、網針・目板や石油ランプ、重箱といった海苔生産に関係する道具と、神社のお祭りで使われたマスや、大森漁業協同組合のマッチ箱といった、海苔の街を象徴する道具をご



石油ランプ
(船上作業用)



重箱(海苔つけ用)

紹介します。展示を通じて、海苔の街であった大田区の歴史を振り返っていただき、海苔と共にあった頃の街の様子を思い返していただければと思います。

また、皆さんのご自宅にも、写真のような道具が眠っているかもしれません。情報がありましたら、ぜひふるさと館までご連絡ください。(三好)



三輪蔵島神社の節分用一升枡



水産組合由来の信用金庫のマッチ箱



網針・目板
(海苔網用)

海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」65号

平成30年10月1日発行
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース66号



新年のご挨拶

海苔のふるさと会
理事長 中村 博

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平素より館の発展のためご尽力
いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。
昨年、海苔のふるさと館は開館十周年を迎えるこ
とができました。多くの方々にご支援いただき、こ
こまで来れたことに深く感謝申し上げます。また、
八月には来館者九十万人目をお迎えすることができ
ました。

この十年間でマスコミからの取材、利用者の方々の
クチコミなどで、ふるさと館の知名度は着実に伸
びました。今では、遠方からの来館者、修学旅行の
ご利用など、海苔のまち大森の名前を広く知って
いただけるようになりました。

区内小学校の利用は八割を超え、海苔つけ体験も
毎年十校以上が実施しています。また、中学生の職
場体験の受け入れもしています。子どもたちには、
今の大森の街があるのは海苔の歴史があ
ったからこそだという誇りを学んで
もらいたいと思っています。

ふるさと館はまだまだ十歳。皆様の
ご期待に沿えるよう、今後も成長し、
一層の発展に努めてまいります。
本年もどうぞよろしくお願い申し上
げます。



大森 海苔のふるさと館

開館10周年記念 記念事業

平成30年度に行った開館10周年記念事業をご紹介します。

記念式典&のり祭り

4月15日（日）、これまでご支援いただいた皆様
への感謝の気持ちをこめて、
開館10周年記念式典を開催
しました。松原大田区長、
海苔のふるさと会理事長を
はじめとした方々にご出席
いただきました。地元の大
元組による和太鼓演奏が華
を添えました。



職員によるフロアトーク

オリジナルグッズ発売

大森 海苔のふるさと館オリジナルグッズとして、
クリアファイルとミニタオルの販売を開始しました。

記念講演会

5月6日（日）、千葉県立中央博物館分館海の博物
館の菊地則雄氏（主任上席研究員、理学博士）による
講演会「アサクサノリという生き物」を開催しまし
た。長年、絶滅危惧種アサクサノリの生育地を調査

している専門家から、興味深いお話を聞くことがで
きました。

企画展

記念事業として3つの企画展を開催しました。

- ◎「写真でめぐる海辺の街の記憶」
3月20日（火）～7月16日（月祝）
- ◎「絵画の中の海苔づくり」
7月18日（水）～10月14日（日）
- ◎「新収蔵品展 海苔の街を伝える道具たち」
10月16日（火）～平成31年1月20日（日）

お月見コンサート

開館10周年を記念し、
昼の部と夜の部の二部
制で盛大に開催しまし
た。

（五十嵐）



弦楽アンサンブル



去年はこんなニュースがありました！

ー 本年もよろしく願い申し上げますー



4月 聞き書き集発行

「聞き書き・大田区民の会」と海苔のふるさと会の協働で、大森の元海苔生産者の語りを記録した『聞き書き 最後の海苔漁師たち』を発行しました。当館で好評発売中です。

4月～ 区内小学校へ出張授業開始

区内小学校へのお出張授業を開始しました。現在までに6校が利用しました。学校の要望に応じて、教員とともにオリジナルのプログラムを作成し、地域の魅力を学ぶ授業を行っています。

夏・秋 梅雨明け、猛暑、台風被害

夏は6月末の梅雨明けの後、災害級の猛暑が続いた影響で、来館者の足も鈍りました。

秋には、9月30日夜に通過した台風24号の影響で、南門脇の木が折れる被害がありました。

12月 優良防火対象物に認定

大森 海苔のふるさと館は、東京消防庁より、防火安全性の高い優良な防火対象物として認められ、優良防火対象物に認定されました。

通年 外部のイベントに参加・協力

* 館のPR活動 *

東京湾の湿地展（谷津干潟自然観察センター）
海苔つけ紹介（大田区観光情報センター）
東京湾大感謝祭（横浜赤レンガ倉庫）
おおた商い観光展（大田区産業プラザPIO）

* 発表 *

日本藻類学会（東北大学）
日本民俗学会（駒澤大学）

* 出張事業 *

エコフェスタワンダーランド（おなづか小学校）
野鳥公園・里地里山フェスティバル（東京港野鳥公園）

* 協力 *

大田観光協会「大森海苔さんぽ」講師
法政大学授業講師
大森東地域センター講座講師
大森西特別出張所「ふる浜まつり」協力
大森まちづくりカフェ「まちカフェ夜学」講師
ほか多数

通年 スタンプラリーの開催

東京湾沿岸にある学習施設の協働で、夏休みに「東京湾ぐるっとスタンプラリー」を実施しました。「大田区夏休み博物館・記念館スタンプラリー」、「旧東海道スタンプラリー」にも協力しました。

通年 3つの新規イベントを開始

「ハーブのてるてる坊主づくり」は、天空ガーデンのハーブを使った工作の第二弾。「大人の紙芝居」は、初の大人向けミニイベントです。

「大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験」は、知的好奇心の旺盛な大人の要望に応える内容です。



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森 海苔のふるさと館ニュース」66号

2019年1月1日発行
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。窓口までお尋ねください。



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース67号

ふるさと館を支える人々

当館の活動は、ボランティアの方々に支えていただいています。メンバーの声を交えながら、今回は二つの活動をご紹介します。

海苔つけ体験指導

当館で一番人気の海苔つけ体験。元海苔生産者から直接技術を教わったボランティアの方々も、指導者として人気イベントを支えています。



サポーターはまどの会のKさんは、海苔つけの指導をしていた元海苔生産者の息子さん。お父様に指導に連れていかれて厳しく教わったとのことで、いまでは若手指導者の筆頭です。道具も自ら手作りするこだわり。海苔つけ体験を通して、参加者に手作りの良さを伝えたいそうです。

全くの未経験から始めたHさん。持ち前の器用さに加えて、自然観察の指導員の経験から教え方のポ



子どもが小さい頃、一緒に体験したよ。今は社会貢献だね。いろんな子どもに出会えて楽しいよ。

ゲームとかじゃなく、実際に自分の体を使って体験するのがとてもいいことだと思うよ。



イントを押さえることに慣れているそうです。

Mさんは地元の小学校のお手伝いに誘われ、その流れでふるさと館にも。「地元の大先輩に手伝ってくれて声をかけられて、そしたら断れないよ。」大森の人々の協力し合う精神が、ふるさと館の活動を支えてくださっています。

指導者の補助をしていたTさんも、今年から指導や質問対応などで活躍しています。

「海苔は多くの手間をかけて作っている。大森の海苔づくりについて少しでも知ってもらえるといい。」若手指導者の方々の言葉です。



指導の仲間募集中！

ご興味のある方は、ふるさと館の窓口にお声掛けください。

3階天空ガーデン

3階には、季節の花を楽しめる天空ガーデンがあります。大田区の「NPO法人花とみどりのまちづくり」にご指導いただき、宿根草と一年草を組み合わせた花壇作りをしています。



草むしりは大変だけど、自分のペースで参加できるので気が楽です。月に1回のストレス発散。

当館のはまどの会のメンバーが、来館者と毎月のお手入れと年2回の植え替え作業をします。

主に40～70代の女性約10名が、それぞれの都合に合わせて参加しています。月1回、ここで顔を合わせるのが楽しみとのことで、いつも手を動かしながらおしゃべりにも花が咲いています。間引いたお花やハーブのお土産がちょっとしたお楽しみです。

花壇で収穫したハーブを使ったイベントでは、材料作りや指導もしています。

そろそろ、チューリップがかわいい花を咲かせ、ガーデンが一番賑わう時期です。ぜひ、3階ベランダまで足を伸ばしてみてください。（まこ）



活動日

お手入れ一原則毎月第二火曜日（8、12、1月をのぞく）10:00～11:00／植え替え一5月、11月

どなたでも参加できます

植物の生命力から元氣がもらえます。公園の中にあるので、ここ来るとホッとできるの。



海苔の生育観察 今年度の海苔生育の報告

【12月】

15日に大森ふるさとの浜辺公園へ海苔網を張り出しました。これまでの観察で、この浜辺は塩分が薄いため、塩分が濃い深い所に張る方が、海苔の生育が良いことが分かってきました。そこで今年はこれまでより低い、海底から約40センチの深さに張りました。

また、深い所に張ったので、自然の干出ができなため、今年は海苔網を海上に出す「干出」を人為的に行いました。網を上げて日光に当てることで、病気に強くしたり、他の海藻類を駆除したりする効果があります。

今年は雨も少なく、気温が低い日が続き、海苔にとっては良い環境の年末となりました。



元海苔生産者の指導で網張り

【1月】

年明けに芽は2〜3センチほどに生長していたので、6枚重ねの網を3枚ずつに分ける「展開」を行いました。網がこすれて、芽がちぎれるのを防ぐためです。その後、さらに2枚と1枚に分けました。

水温の計測や干出も続け、様子を見ましたが、そ

の後はあまり生長が見られませんでした。

そこで今年初の試みとして、網を斜めに張り、生育に適した高さなどのあた



約15センチに生長したノリ

りなのか、実験を行いました。海面に出ている部分はほとんど無くなっていたことから、やはり深い方が適していることがはっきりしました。

また、今年は竹ヒビについた二次芽の海苔が生育していました。3センチほどのものがちらほらとあり、長いものは15センチほどに伸びていました。

【2月】

色々と手を尽くしましたが、今年も収穫できる長さにはなりませんでした。干出作業の見学会を行い、公園を利用する方々に海苔網の様子や作業について紹介しました。初めて見る海苔網の光景に、足を止めて話を聞く方がおられました。

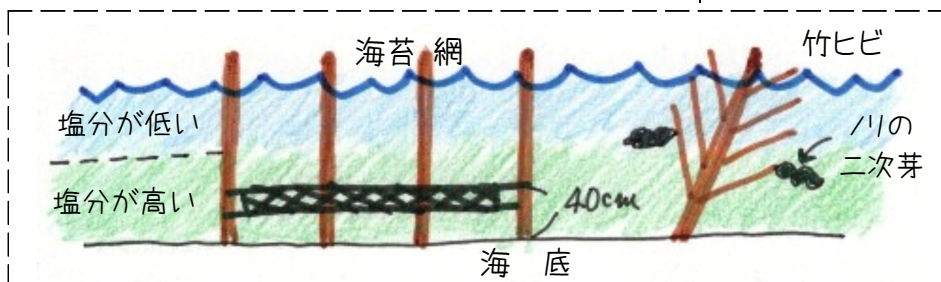
海苔生育には難しい環境ですが、かつての養殖風景や、今の海苔養殖の様子を知ってもらえるように取り組みたいと思います。

(三好)

大田区広報番組「シティニュースおおた」3月後半号にて、見学会の様子を取材していただきました。



網を水面から上げる干出作業



**海苔のふるさと会
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。窓口までお尋ねください。

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」67号

平成31年3月1日発行

編集・発行 特定非営利活動

法人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347